

■機能要件一覧

No.	区分	要求区分	内容
1	全般	必須	DXSaaS要件定義書で対応区分が必須となっている要件について対応し、ガバメントクラウド（AWS）での提供が可能である
2	全般	必須	住民異動届に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
3	全般	必須	証明交付に係る業務（住民基本台帳関係証明書、戸籍証明書、印鑑登録関係証明書、税関係証明書）に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる ※ただし、戸籍端末でのRPA使用は想定しておらず、申請書作成機能までを想定
4	全般	必須	戸籍届出に係る業務（戸籍法に係る届出の作成を除き、関連して発生する手続を一体的に受付できればよい）に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
5	全般	必須	印鑑登録に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
6	全般	必須	マイナンバーカードに係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる ※ただし、統合端末でのRPA使用は想定しておらず、申請書作成機能までを想定
7	全般	必須	国民年金に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
8	全般	必須	国民健康保険に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
9	全般	必須	介護保険に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
10	全般	必須	障害福祉に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
11	全般	必須	保育所に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
12	全般	必須	幼稚園に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
13	データ取得・入力	必須	当市調達の基幹系端末上で入力等が行える 令和7年度は、Windows 10Pro(64bit)版及び11Pro (64bit)、ブラウザについては、Microsoft edgeを想定。順次Windows 11proに移行予定、ブラウザは、Microsoft edgeを想定
14	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠住民記録システムからデータを取り込み、使用できる ※住民記録システムのみ、随時（5分程度）の吐き出しを想定する。その他のシステムは、日次での吐き出しを想定する。
15	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠印鑑登録システムからデータを取り込み、使用できる
16	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠税システム（市民税・軽自動車税・固定資産税）からデータを取り込み、使用できる
17	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠国民健康保険システムからデータを取り込み、使用できる
18	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠国民年金システムからデータを取り込み、使用できる
19	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠障害者福祉システムからデータを取り込み、使用できる
20	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠介護保険システムからデータを取り込み、使用できる
21	データ取得・取込（前連携）	必須	標準仕様準拠生活保護システムからデータを取り込み、使用できる
22	データ取得・取込（前連携）	必須	データ取込の対象者を生年月日検索できる
23	データ取得・取込（前連携）	必須	データ取込の対象者を選択した際、同一世帯員の情報を同時に自動的に取り込める
24	データ抽出・取込（後連携）	必須	RPAで連携するための申請データ抽出 （窓口DXSaaSで記載した申請データを抽出し、当市の基幹系システムに反映・入力できる。現状、標準準拠システム側でのAPI連携が非推奨であるため、RPAでの連携を想定する。当市の基幹システムに反映させるための条件を指定した差分抽出等の調整は、SaaS側で行うものとする。）
25	データ抽出・取込（後連携）	必須	円滑なデータ連携のための3社協議に参加することができる
26	データ取得・読取	必須	マイナンバーカード内蔵ICチップを読み取り、使用できる
27	データ取得・読取	必須	運転免許証、在留カード、マイナンバーカード券面OCR情報を読み取り、使用できる

28	データ項目	必須	手続の種別及び内容を任意に設定できる
29	データ項目	必須	来庁者の4情報が入力できる
30	データ項目	必須	本人、代理人等来庁者種別の入力ができる
31	データ項目	必須	手続ごとに、手続対象者の情報が入力・選択できる
32	データ項目	必須	手続対象者を複数入力することができる
33	データ項目	必須	データ項目ごとに、入力方式（直接入力、取込データからの選択入力、一度入力したデータのコピー、プリセットリストからの選択、はい/いいえ方式）が任意で選択できる
34	帳票	必須	手続に対し任意の様式の帳票を紐づけることができる
35	帳票	必須	一つの手続に対し、複数の帳票を紐づけることができる
36	帳票	必須	証明書交付申請書が作成・出力できる
37	帳票	必須	住所異動届書が作成・出力できる
38	帳票	必須	法律に定められた様式（児童手当給付申請書等）が作成・出力できる
39	帳票	必須	市民に交付する想定の手続完了後や今後の手続が示された案内書が作成・出力できる
40	帳票	必須	他窓口で入力したデータを再利用するための引継ぎコード等を有した引継書が作成・出力できる
41	帳票	必須	任意様式の申請書が作成・出力できる
42	帳票	必須	任意の案内チラシ（データ印字ではなくプリセット情報のみの帳票）が出力できる
43	入力IF	必須	入力データは、あらかじめ自動セットできる
44	入力IF	必須	手続ごとに「受付済」「入力要」などのステータスが表示され、操作者がすべき操作を簡便に判断できる
45	入力IF	必須	入力データに係る条件を任意に設定し、矛盾がある場合、アラート表示できる
46	関連手続判定	必須	取込データ及び入力データをもとに設定した任意の条件で、起点手続以外の手続（以下関連手続）の要/不要が判定できる
47	関連手続判定	必須	市民への質問に対する回答結果のデータ（入力データ）を用いて判定できる
48	関連手続判定	必須	対象者の生年月日データ（入力データまたは取込データ）を用いて、年齢要件から判定ができる
49	関連手続判定	必須	対象者の資格データ（取込データ）を用いて判定ができる
50	関連手続判定	必須	起点手続のデータ入力後、要不要判定に関わらず関連手続のデータ入力画面に遷移できる
51	出力	必須	PDF出力し、任意のフォルダへ保存又はシステムへの検索可能な状態での保存ができる
52	出力	必須	紙媒体への出力ができる
53	出力	必須	一度完了した手続について、操作アカウントを問わず再度呼び出して、データを追加・修正し、再出力することができる
54	その他要件	必須	取込データのうち、支援措置対象者のいる世帯や異動禁止の者等が検索された場合にアラート表示できる
55	その他要件	必須	MJ+で連携された文字について、申請書に印字できる。もしくは、代替文字に変換できる
56	その他要件	必須	参照できる情報・出力できる申請書について、操作者個別に権限を設定できる
57	その他要件	必須	操作者の操作について記録し、ログを5年間保存できる
58	その他要件	必須	日付を5070501または20250501の数値形式で入力できる
59	その他要件	必須	いずれかの認定・認証を有している ① プライバシーマーク付与認定 ②最新のJIS Q 27001 (ISO/IEC 27001) を基準とした情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の適合性に関する認証
1	全般	推奨	児童手当に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
2	全般	推奨	児童扶養手当に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
3	全般	推奨	後期高齢者医療に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
4	全般	推奨	税（収納・証明）に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
5	全般	推奨	母子保健に係る業務に係る一般的な届出や申請の受付について、機能（申請者の属性に応じた入力、受付支援機能を有することを含む。）を提供できる
6	データ取得・入力	推奨	基幹系端末上で動作する際、市民側からキーボード入力及びタッチパネル等を利用した手書き入力（電子サイン対応）が可能である

7	データ取得・取込（前連携）	推奨	マイナンバーカード交付管理システムからデータを取り込み、使用できる ※ただし、基本データリストが存在しないため、汎用抽出で出力したCSVを提供することを想定
8	データ取得・取込（前連携）	推奨	標準仕様準拠健康管理システムからデータを取り込み、使用できる
9	データ取得・取込（前連携）	推奨	標準仕様準拠後期高齢者医療保険システムからデータを取り込み、使用できる
10	データ取得・取込（前連携）	推奨	標準仕様準拠子ども子育てシステムからデータを取り込み、使用できる
11	データ取得・取込（前連携）	推奨	マイナポータルを経由した転出、転居予約、転入予約されたデータ、特例転入時の転出証明書情報（住民記録システムを経由する想定） ※基本データリストでの掃き出しを行う
12	データ抽出・取込（後連携）	推奨	API連携するための申請データ抽出・連携基盤との後連携 （現状、RPAでの連携を想定しているが、今後、標準準拠システム側でAPI連携が可能となった場合、APIで連携ができるかどうかについて確認するための項目である。現時点で何らかのAPIで処理できるかどうかについて確認したい。また、標準準拠システムとのAPI連携仕様が更新・公表された場合に改修が必要になる場合の費用等について、可能な範囲で自由記述欄に記載いただきたい。）
13	データ回付	推奨	申請書受付場所と所管部署が異なる場合、所管部署に申請書データを回付することができる。（電子署名・電子サインを付与し、送付することで、所管部署に原本をデータで回付することができる）
14	データ回付	推奨	起点となる部署で案内後、別の部署で手続を再開する場合、事前に聞き取りできている内容等を引き継ぎ、手続を再開することができる。（起点となる部署でデータ回付部署を指定、または案内対象となった時点で、所管部署側でその情報を確認できる）
15	データ取得・読取	推奨	住民記録システム標準仕様書に準拠した転出証明書に記載されるQRコードを読み取り、使用できる
16	データ項目	推奨	来庁者に対する本人確認の結果を本人確認書類の種類で選択入力できる
17	データ項目	推奨	手続ごとにデータ項目を任意に作成できる
18	データ項目	推奨	データ項目に対してスキャンした画像データを入力することができる
19	データ項目	推奨	電子署名・電子サインデータが管理できる
20	入力IF	推奨	出力する帳票は、複数言語から使用言語を任意に選択することができる
21	入力IF	推奨	入力データは、データ項目ごとに、必須／任意のステータスが設定できる
22	入力IF	推奨	一度入力したデータを他のデータ項目に手動でコピーできる。また、任意に設定した条件によって自動でコピーすることもできる
23	出力	推奨	任意形式のCSV出力ができる
24	その他要件	推奨	手数料の計算を行い、データとして使用できる
25	その他要件	推奨	住所入力の際、既存登録住所、住所辞書、土地・方書データを用いて入力できる